



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第453号

## 四旬節 ～ゆるしの秘跡～

ロザイロ・ブラッドリー 神父

ゆるしの秘跡を受ける心の準備としてルカ 19：1-10を中心に書かれた教皇フランシスコのことはを紹介したいと思います。

良心に負い目があった時、恥すべき多くのことを行った時に、おそれずに少し立ち止まってください。あなたを待っている方がいることを考えてみてください。その方はあなたを常に心に留めて下さる方です。この方こそがあなたの御父です。あなたを待っている神です。ザアカイと同じように赦しへの望みの木に登ってください。「ザアカイ、急いで下りてきなさい」。

皆さん、私たちがイエスに名を呼んでいただくではありませんか。心の奥底でイエスの御声を聞こうではありませんか。イエスは言われます。「今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」・・・あなたの心の中に・・・あなたの生活の中に・・・留まりたい・・・私たちは喜びを持ってイエスを受け入れようではありませんか。イエスは私たちを作り変え、私たちの石の心を肉の心に変えることができます。私たちが利己主義から解放し、私たちの人生を「与える愛の人生」にしてくださいませ。

イエスにはこのようなことができます。イエスに癒していただくではありませんか。ザアカイのように、イエスを今日という日のうちにお迎えするものでありたいと願います。



幼稚園から.....	2面
糸島教会からお礼の手紙.....	3面
灰の準備.....	3面
十字架のふもとへの旅.....	4・5面
お知らせ・今月の聖人.....	6面



## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 3月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉



3学期を迎えあっという間に1か月が経ちました。幼稚園では2/3(火)に豆まきを行いました。豆入れを製作する段階から、子どもたちは豆まきをととても楽しみにしていました。当日、子ども達は心の中にある鬼と向き合い、一生懸命に豆を投げる姿がありました。今年も元気に過ごせますように。

同日から、年長児は卒園製作に取り組み始めました。今年はステンドグラスを作ります。年長児全員で話し合い、思い出に残っている運動会や発表会でテーマにした「自然」を取り上げ、それぞれ描きたいものを選び、心を込めて描いているところです。完成が楽しみです。



TEL : 093 201 9559

e-mail : [coutactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:coutactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### 〈マリア子どもの家〉



マリア子どもの家では、2月3日に豆まきをしました。ペープサートで、欲張りな鬼達が幸せに暮らしている村人を泣かせる話を聞きました。最後に、自分で角や目、鼻や牙を貼って作ったお面を着け、「鬼は外 福は内～」とエアー豆まきをしました。色々な表情の可愛い鬼さん達でした！今年も健康に過ごせますように。まだまだ寒い日が続いていますが、子ども達は、戸外で元気に遊んでいます。先日、畑に小さな砂場と砂山を子ども達と作りました！幼稚園の園庭の砂を、子ども達と一緒にスコップで一輪車に入れて、何回か運ぶことを繰り返しました。とってもかわいい砂場と砂山が出来ましたよ。



TEL : 050 5212 7759

[https : www.mariahouseofchildren.jp](https://www.mariahouseofchildren.jp)

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

## 「糸島教会からお礼の手紙が届きました」

ブラッドリー神父様  
水巻教会の皆様

先月18日のミサには突然お邪魔させていただき、スリランカ内戦で負傷し、今も難民キャンプで窮乏生活を強いられているチュラン少年の、左脚の切断手術と義足購入のための募金をお願いしましたところ、多額(90000円)のご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

他教会からのご協力金と合わせ、初見かおりからスリランカに送金させていただきます。後日、手術の経過などご報告させていただきたいと思います。

手術が成功して、この少年が立ち上がることができれば、彼にとって「希望への巡礼者」としての願いがかなう時となることでしょう。

この度は、突然のお願いにもかかわらず、貴重なお知らせの時間をいただいたうえ、ご協力いただきましたこと、ほんとうにありがとうございました。

カトリック糸島教会 有志代表 田中 勲

### その後の報告

先日はチュラン少年のために多大なご寄付を賜りありがとうございました。チュランさんの手術は1月20日に無事終わりました。指先の無い左脚はそのままで右脚を切断したとのこと。これからはマナー島でリハビリ生活が始まります。

カルメル会修道院付 山口好信

### 灰作り

前日の雨も止み、みんなで協力して灰づくり。無事に灰の水曜日の準備ができました。



## 十字架のふもとへの旅—四旬節に心に留めるべき10のこと

デイビット・L・リッケン司教

(福音宣教・カテケージス委員会の元委員長)

### 1. 公式を覚えよう。

教会は覚えやすいリストや公式で心理を捉えるのが得意だ。

十戒、七秘跡、三位一体の三つの位格。四旬節には、教会はほぼスローガンのようなものを与えてくれる—祈り、断食、施し—この季節に取り組むべき三つのことだ。

### 2. 祈りの時である。

四旬節は本質的に40日間にわたって展開される祈りの行為です。祈りながら私たちは旅路を進み、その旅がキリストに近づき、主との出会いによって変えられることを願うのです。

### 3. 断食の時です。

灰の水曜日と聖金曜日の断食、金曜日の肉断ち、そして個人の修業が交わる四旬節は、現代のカトリック教徒にとって実際に断食を行う唯一の時期です。おそらくそれが注目される理由でしょう。「四旬節に何を断つ？ホットドック、ビール？」一部の人のためにゲームのようなものだが、断食は実際には悔い改めの形であり、罰から離れキリストに向かう助けとなる。

### 4. これは自己規律を養う時です。

四旬節の40日間は、一般的な自己規律を磨くのに最適な定められた時期でもあります。何かを断つ代わりに、積極的な行動をとることもできます。「もっと行動する」「もっと祈る」「家族や友人、同僚にもっと優しくする」といった具合に。

### 5. それは自己を捨てることについてです。

四旬節の修業より深刻な側面は、単なる自制心以上のものです。—キリストに似ていない自分の側面を見付け出し、それを死なせることにあるのです。四旬節の間、私たちの心にはキリストの苦しみと死が最も強く刻まれます。私たちは苦しみ、キリストと共に死に、清められた姿で復活するという神秘に参与するのです。

### 6. やりすぎないでください。

四旬節を野心的な自己改革の期間にしようとする誘惑がありますが、シンプルに焦

点を絞るのが最善です。教会が年々これらの神秘に取り組むのには理由があります。私たちは生涯をかけて神に近づいていくのです。それを一つの四旬節に詰め込もうとしないでください。それは失敗への道筋です。

## 7. 四旬節は私たちの弱さを思い起こさせます。

たとえ四旬節の間に簡単な目標を立てたとしても、それを守るのは難しいものです。断食するとき、私たちは皆、たった一食で飢えに直面することを悟ります。いずれの場合も、四旬節は私たちの弱さを示します。これは痛みを伴うかもしれませんが、自らの無力さを認識することで、私たちは新たな切迫感と誠実さをもって神の助けを求めようになるのです。

## 8. 自分自身に寛容であれ。

四旬節に自らの弱さと向き合う時、怒りや苛立ちに駆られる誘惑に駆られる。「なんて悪い人間なんだ！」しかし、それは誤った教訓だ。神は私たちに忍耐強くあるよう、そして神がそうされるように、無条件の愛をもって自らを見つめるよう招いておられる。

## 9. 慈愛をもって手を差し伸べよう。

四旬節の期間に弱さや苦しみを経験する中で、飢えや苦しみ、その他の必要に直面する人々への思いやりを新たにすべきです。四旬節の三つの実践のうち三つ目は施しです。これは献金箱に数ドル余分に投じる以上の意味を持ちます。神の無条件の愛の体験を分かち合う方法として、他者に手を差し伸べ、ためらうことなく助けることなのです。

## 10. キリストのように愛することを学ぶ。

苦しみと自己否定の只中で自らを捧げることは、私たちがキリストのような愛に近づけます。キリストは私たちのために十字架上で無条件に苦しみ、自らを注ぎ尽くされたのです。四旬節は、私たちがキリストを求め、助けを願い、その苦しみに加わり、キリストのように愛することを学ぶ、聖金曜日の十字架の足元へと至る砂漠の旅路なのです。



# 3月のおしらせ



## ★四旬節の黙想会★

日 時：3月1日(日)ミサ後

指導司祭：林 尚志神父(イエズス会)

※黙想会后、折尾・高須青葉地区のゆるしの秘跡があります

## ★ゆるしの秘跡について★

(3月1日以降の予定です。)

3月15日(日) ミサ前8:30~9:00

梅の木・吉田・中間地区

3月29日(日) ミサ前8:30~9:00

赤間・海老津地区

都合が合わない方、上記時間帯以外でお願いしたい方は、神父様に相談ください

## ★四旬節の予定★

○受難の主日 3月29日(日) 9時30分~

○聖木曜日 4月 2日(木) 19時30分~

○聖金曜日 4月 3日(金) 19時30分~

○復活徹夜祭 4月 4日(土) 19時30分~

○復活の主日 4月 5日(日) 9時30分~

## ★3月号のからしだね★

3月は「からしだね」のみの配布です。「心のともしび3月号」は2月に配布しています。



## 今月の聖人

### 28日 聖ヨハネ(カピストラノ) 1386年-1456年

ヨハネは、イタリアのカピストラノの貴族の家に生まれました。幼くして戦争で父と兄を失いました。1406年にペルージアで法学を学び、才能が認められて判事となりましたが、ペルージア市とリミニ市の間で争いが起こり、ヨハネは投獄されました。そのときの体験から、彼は修道生活を送って神に生涯をささげることを決心し、出獄後、1415年にフランシスコ会に入りました。

司祭となってイタリアの各地を説教して巡り、多くの人びとを信仰に導き、また教会、修道院の改革に貢献しました。当時フス派(フスは、教皇権を否定し、破門された)が広まっていたので、ヨハネは、フス派の活動を防ぐために、教皇ニコラス5世からオーストリアに派遣されました。そしてハンガリー、ボヘミア、オーストリアでフス派に対しての宣教活動に励みました。

またトルコ軍によって1453年にコンスタンチノーブルが陥落し、キリスト教が危機にさらされていたので、ヨハネはトルコに対して十字軍を結成することを説き、1456年、ベオグラードでトルコ軍を破りました。その後、彼は伝染病にかかり亡くなりました。